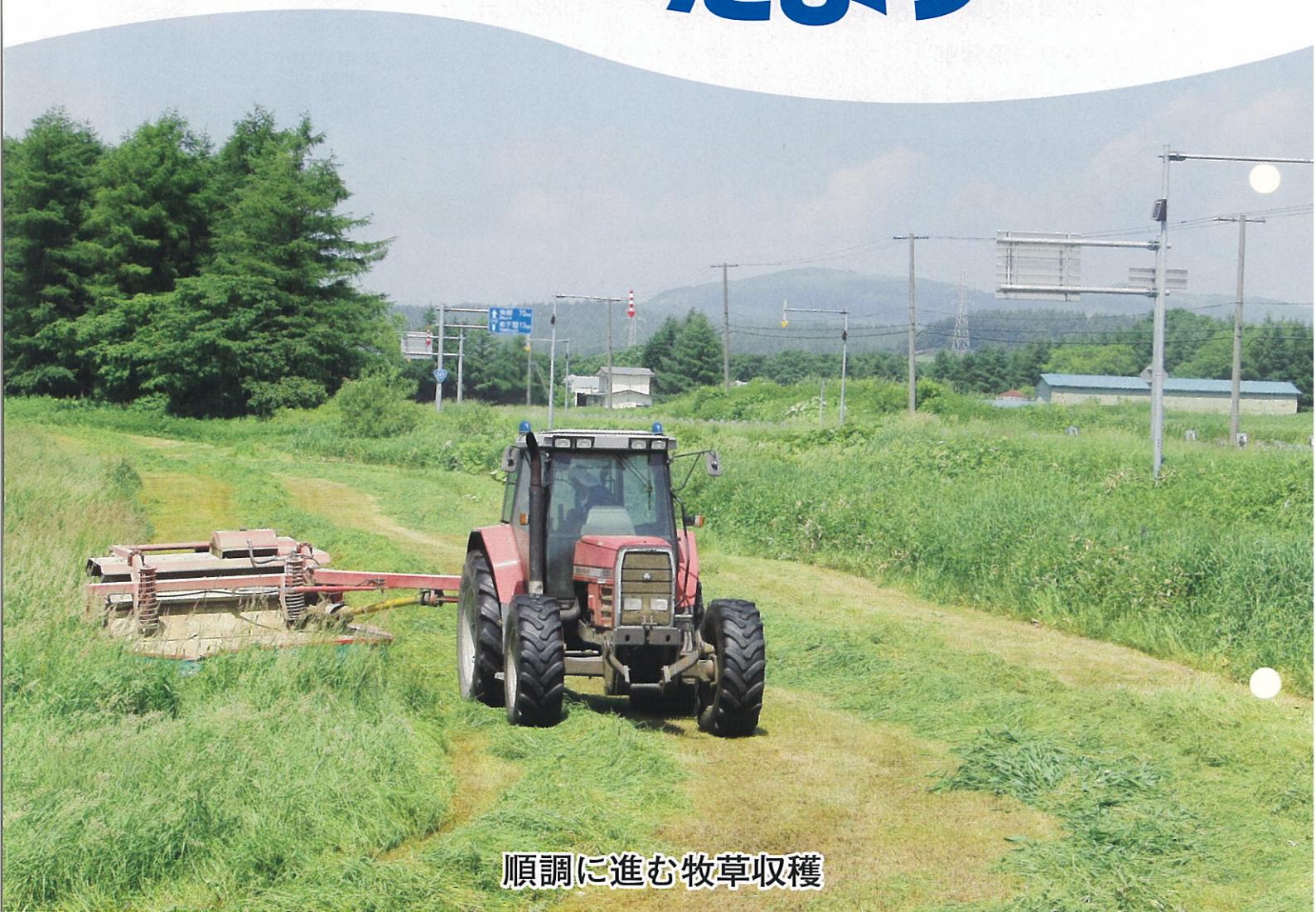


# しべちゃ 議会 だより



順調に進む牧草収穫

第90号

平成25年8月1日発行

発行／標茶町議会  
編集／広報調査特別委員会  
電話／(015) 485-2111  
住所／標茶町川上4丁目2番地

## 6月第2回定例会(6月18日・19日) 25年度補正予算可決

一般会計 2億4,813万5千円の追加  
国保事業 18万9千円の追加  
下水道事業 100万円の追加

一般質問 町政を聞く 5名9件の質問

意見書 精神障害者の公共交通機関の割引制度拡充を求める意見書など5件可決  
決議「核兵器廃絶・平和の町」宣言に関する決議

第2回臨時会(4月5日) 損害賠償の額の決定及び和解について(2件)

第3回臨時会(4月30日) 標茶町税条例の一部を改正する条例(2件)

平成25年度一般会計補正予算

## 第一回定例会

平成二十五年度

# 補正予算可決

平成25年度補正予算は、一般会計2億4,813万5千円の増額をはじめ、国保事業会計、下水道事業会計の2特別会計の補正があり、いずれも原案可決しました。補正の主なものは、国保事業会計、下水道事業会計への繰り出し、スクールバス2台購入、有害鳥獣駆除事業などです。

### 主な内容

・国民健康保険事業事業勘定特別会計繰出金	4,500万円
・ロータリー除雪車	4,430万円
・駒ヶ丘公園改修	4,054万円
・下水道事業特別会計繰出金	100万円
・スクールバス購入	1,214万円

### 条例の一部改正

地方税法・地方税法施行令の一部の改正に伴い、課税事務処理上、町税条例の一部を改正したものです。

### 標茶町税条例の一部を改正

令の一一部の改正に伴い、課税事務処理上、町税条例の一部を改正したものです。

### 条例以外

#### 車両の取得について

路線バス（磯分内線）で使用する小型バス（二十六人乗り）を購入しました。

#### 車両の取得について

スクールバス（上虹別線）で使用する小型バス（二十九人乗り）を購入しました。

#### 工事請負契約の締結について

取得価格  
991万9,155円  
833万3,733円

虹別第一地区にある墓地は、墓地管理組合の設立により、当該墓地を虹別第一墓地として、第2種墓地に追加する条例の改正をしました。

### 標茶町障害者程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正

関係法律の整備に関する法律の施行により、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）に変り、

### 第一回臨時会

#### 損害賠償の額の決定及び和解について

平成二十五年度一般会計補正予算は930万円の増額で、4月の暴風雨による災害復旧費に充てるものです。

茶町障害者程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の設置の根拠法について変更が必要となり条例の改正をしました。

### 第三回臨時会条例改正

#### 標茶町税条例の一部を改正する条例

直営除雪車による接触事故において和解がされ、損害賠償額が決定されたものです。

### 平成二十五年度 補正予算可決

3. 実施事項（5）のウ、「自衛隊帯広地方連絡部からの要請に基づき必要な自衛官募集に関する情報の提供を行う。」とあり、対象者の情報提供について、どのような協力をしているのか。

## 自衛官募集事務について

田中敏文  
議員

町長適切に対処している

問 国に代わり県及び市町村がすべき自衛官募集事務実施要領がある。

掲示は義務教育の目的と照らし合せ適切とは考えていない。



1. 実施事項（3）、募集窓口の設置等、役場内に自衛官募集の窓口を常設し、志願者及びその父兄等が気やすく相談できるようする現状ではどのように対応されているのか聞く。

2. 実施事項（4）の広報ポスターの掲示では、「特に有効と思われる公共施設等に掲示する。」とあるが、掲示されている施設と各施設はどういうふうになつ

4. 幼保・小・中学校へのPRポスターの掲示、及び中学校の教諭等に対する募集協力の推進をはかつてはどうか。

小学校 幼保  
にP.R.。  
スターの  
揭示は基  
務教育の  
目的と照  
らし合わ  
せ適切と  
は考えて  
いない。

自衛官募集窓口の設置は、総務課が行っている。ポスターは、役場戸舎一階と旧法務局側の二個所に、現在五枚を掲示している。情報提供は、適齢者情報の依頼が自衛隊より寄せられている。本町としては、住民基本台帳第十一条一項に該当するもので閲覧という形に対応している。

## 風疹予防接種費用の助成を

鈴木裕美  
講員

## 町 長 接種費用の一部を助成

いる。ワクチン接種が最も効果的な予防法だが、本町で実施している任意の接種で五、五四〇円とインフルエンザの二倍と高額だ。子どもを産みたいと希望している女性とその家族への支援として予防接種費の助成ができるのか。予防接種は

問 風疹が全国的に流行し、鉤

二回となつてゐるが、一回の接種で終わつてゐる子どもがいることから、平成二十年四月から五年間に限つて第三期として中学一年生第四期として高校三年生が二回目の定期接種をすることになつていて、接種状況はどのようになつていたか。



**答** 風疹の予防方法は、ワクチン接種が有効とされている。接種費用の経済的負担を軽減するため、費用の一部助成を図り、安心して赤ちゃんを産める環境づくりを検討する。接種状況は、第三期九七・四%、第四期九四・七%となつていて、年度当初に個別通知を行い、未接種であれば訪問、電話で勧奨を行い、養護教諭に協力を依頼し保護者に働きかけてい

知は、婚姻届時の窓口でチラシの配布を行つてゐる。

介護度改善のため様々な工夫をし懸命に努力している介護スタッフのモチベーションは下がるのではないか。標準茶町としては、介護度を改善する努力を事業所が行い、その結果成績が上がれば報酬が下がるというのではなく、介護度を改善した事業所には、そ

## 介護サービスの向上、要介護度改善に、介護報酬の助成を 深見 迪 議員

町長 制度については同じ思いを持っている。調査したい



現行の介護保険制度では、介護スタッフが本来の介護理念に基づき、高齢者の自立を支援するとい

う当たり前の介護をすすめ、その成果として要介護度が改善されれば、介護報酬が下がるという状況にある。介護員をはじめ介護スタッフが当然の努力を改善されれば逆に介護報酬が下がるというこのような介護保険制度の状況をどうとらえて

いるのか。

私は、成果が上がり、介護度が改善されれば報酬が下がるというの矛盾であると思う。これでは、利用者の介護度改善のため様々な工夫をし懸命に努力している介護スタッフのモチベー

の成果に見合う報酬の助成を行う制度をつくり、より一層介護サービスの向上を図ってはどうか。



介護保険制度の現行制度では、

状態により、それに見合う必要なサービスの報酬体系なので、介護度が高い方と低い方が一律の報酬となつていい。介護度が改善されると事業者側の報酬が下る矛盾については今後の課題として先送りの状況だ。助成については町負担と介護度が改善された場合の町負担の差額の分析に時間を要するので、実際のシミュレーションを行い費用負担の研究を行う。



## 標準茶町の公式ホームページの充実について 熊谷善行 議員

町長 今年度末を目途に



公式ホームページは、本町の近況や情報を発信して地域の活性化に大きな役割を果たすものと考える。

企業においてはビジネス活動を補完するツールとして、非市民が発する情報を補つたり、役割を果たすものと考える。

常に重要なものが、サイトの更新やリニューアルは必要不可欠で、現在までの検証や今後の更新やリニューアルの予定等について伺う。



近年は、インターネット回線の高速化、携帯端末の多様化により情報受発信の方方が大きく変わろうとしている。本町ホームページのアクセスや内容の分析・検証を進めている。これらの結果を踏まえ、次期ホームページリニューアルに向け住民がわかりやすい表現・探しやすいう情報配置・内容の拡充を考え、すでに作業を開始し、今年度末を目指して取り組んでいます。

標準茶町の公式ホームページは、今年度末を目途に一部公開できるよう取り組んでいます。



## 「ちょっと暮らし」で積極的なアピールを

町長 移住者の増加につなげていきたい

長尾式宮  
議員



現在、地域活性化・過疎化対策の一環として移住・交流に積極的に取り組む市町村で構成されている「北海道移住促進協議会」も現在では一一三の市町村が参加しており、標茶町もその一員である。

P.O法人住んでみたい北海道推進会議が北海道総合政策部地域づくり支援局・N二十四年三月にまとめた報告書によれば、今後の課題として「潜在需要の掘り起しこしと効果的な情報発信」。

「現役層へのアプローチと多様化するニーズへの対応」・「事務作業の広域的な連携の促進」等が挙げられている。具体的には体験者の利便性や地域交流における情報収集、受け入れ側の対応力などが体験者側の評価ポイントと見て取れる。

今春より、標茶町でも「ちょっと暮らし」の受け入れ態勢が整い、すでに一組目の体験者が移住体験を終了している。

現時点までの事業の推移と「ちょっと暮らし」における今後の方針を伺う。



おためし暮らしの内部



本年三月より受け入れ開始したが、利用者から頂いた感想では、大自然に隣接した生活環境、住宅設備等、点数が高く、満足とのお声をいただいた。アンケートによるニーズの補足とその対応、お試し生活を楽しんでいただけるさらなる情報提供を、運営主体である商工会青年部と連携し、進めていきたい。現時点で三十八件の問い合わせをいただいているが「北海道暮らしフェア」でのPR活動が功を奏している。総体的に勘案し二件目も検討したい。

問い合わせをいただいているが「北海道暮らしフェア」でのPR活動が功を奏している。総体的に勘案し二件目も検討したい。

田中 敏文 議員

## その他の一般質問

### 野生ミンク被害について

問 野生化したミンクにによる被害が大きいと聞く。

外來生物法、鳥獣保護法、狩猟法などを遵守して適切

で防除する場合は必ず自治体の担当窓口に相談するとされている。

本町には標茶町鳥獣被害防止計画あり対象鳥獣にミンクを追加し対策を講じてはどうか。

答

ミニクによる農林業被害額は二十三年まで三年間で全道で百万元、管内で十万円の被害額が報

告され本町においては、関係者などからの被害の申し出もない事から被害なしとして報告をしている。

町民の皆様からの被害を受けて困っていると相談があつた場合には、知事の許可を受ける事により「わな」による捕獲などの対応を考えていきたい。

町民の皆様からの被害を受けて困っていると相談があつた場合には、知事の許可を受ける事により「わな」による捕獲などの対応を考えていきたい。

深見 迪 議員

### 国の公共事業労務単価の大幅引き上げを町の公共事業労務単価に反映させよ

問

国は、公共事業設計労務単価一六・三%

の大幅値上げを行った。この大幅値上げにより、各事業所で働く人たちの賃金の引き上げ、社会保険加入の促進が期待されるが、実態

はどうか。

また、国の大幅値上げのねらいにあつた町の指導・要請を行うべきと考えるがどうか。

さらに、町内業者の仕事確保のため、下請け等についても極力町内業者に仕事がいくよう入札要件に入れはどうか。

入札は建設業退職金共済の加入が条件だ。下請けにも人工数分がおろされなければならぬがどうか。



**答** 社会保険加入は、本町指名業者で加入義務のある業者は以前から加入済みだ。  
賃金の引き上げは、業界が国の趣旨を理解し、適正

### 米海兵隊移転訓練のブリーフィング(説明)を実施するよう要求すべきだ

**問** 矢臼別演習場における米海兵隊実弾訓練

は、十三回目となるが、今

回の訓練実施に当たつて前回まで行われていたブリーフィング(説明)の案内がなかつた。ブリーフィングは訓練情報を一般住民、報道機関、自治体などが共

な賃金水準確保に向け努力されるよう期待する。町の

指導・要請は、四月の建設工事説明会議で周知徹底を図っている。下請等は受注者の選択が原則だが業界側も一定の理解を示しているので入札要件とする考えはない。建退共証紙は、元請と下請が確認した証紙の貼付実績が報告されている。

深見　迪  
議員

全のため、訓練後には報告とともに質問を受け回答することが重要と考える。訓練終了後にブリーフィングをするよう要求すべきではない。

今までの訓練では野火も発生した。今回の訓練はすでに始まつており、今後事故も考えられる。住民の安全のため、訓練後には報告

えるがどうか。

これまでの訓練では野火も発生した。今回の訓練はすでに始まつており、今後事故も考えられる。住民の安全のため、訓練後には報告

までの訓練では野火も発生した。今回の訓練はすでに始まつており、今後事

### 災害時における避難施設の整備状況について

熊谷　善行　議員

**答** 指定避難施設の整備

状況や今後の計画等について、以下について伺う。

一　指定避難施設のライフラインの確保について。  
二　築年数が経過している施設などで設備等の更新時期が近い施設の整備予定について。

三　小規模施設の整備予定について。

四　災害時の水・食料・暖房器具等などの備蓄状況について。

**答** 標茶町地域防災計画において避難所を四十八カ所指定し非常時対応できるように備えている。

一点目、ライフラインの確保は、災害応急計画・災害時レンタル機材優先供給

協定締結に加えて、非常用発電機は本年度二基導入する。  
二点目、日頃より設備等点検を行い必要に応じて整備を進める。

三点目、災害時の初動活動の拠点として設備点検の依頼と自主防災組織の設立を呼び掛けている。

四点目、非常用備蓄品は必要に応じて補充している。商工会との「災害時における生活関連物資供給に関する協定」により協力をお願いしている。



災害用の備蓄物資

## 總括質疑



本多 耕平 議員

二十五年度酪農再興

事業予算の事業内容  
と進捗状況は、どの様に  
なつて いるか。

J Aの中期計画の支援、特に「草地更新」「環境対策」「就農事業」等への取組みを進める。

黒沼 俊幸 議員

**答** 虹別の郊外は、できるだけ早朝から除雪する様に努力する。

**深見**　**迪議員**　体罰の実態調査で「ある」と回答があつたのに、再調査でゼロとなつたのはなぜか。

**答** 磯分内地区北公住を  
対象に長寿命化計画  
を立てて年次に行っていく。  
バリアフリーを取り入れる  
計画である。

問 児童生徒の転校規制はどの様になつてい  
るか。

答 原則は地域の学校へ通学との規制がある。

**問** 農業共済組合合併合理化にともなう本部事務所の位置付けの考え方を  
う。

**答** 推移を見守り注視していく。

A bright yellow snowplow truck with a black front end and orange safety equipment, clearing snow from a street.

館田 賢治議員

**答** 答えた方の氏名と明な部分が多過ぎて「ゼロ」とした。

「ゼロ」とした。

**答** 利用組合の意向を尊重しながら検討して

開標茶酩農會社設立に

**答** 相手方の要望もあり  
出資という形で支援  
したい。額は総額の十%以  
内を考えている。

**答** 独自削減をしていく  
ので現時点では考  
えていない。

**問** 標茶酪農会社設立に  
伴い町からの出資、  
支援内容について

**問** 国からの地方公務員  
の給与削減の要請に  
対する町の対応について

## 問 美幌堆肥舎の今後の

## 問 標茶農協の中期農業振興計画目標達成の

A photograph showing several students in a classroom. One student in the foreground, a girl with dark hair, is smiling and has her hand raised. Other students are visible in the background, some looking towards the front of the class. The classroom has wooden shelves in the background.



# 意見書

次の五件の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

介護サービスから「軽度の高齢者」分離に反対する意見書

バス事業をはじめとした  
公共交通機関への割引制度  
普及のために、事業者に理  
解と協力を求める努力と、  
地方の交通機関事業所の嚴  
しい経営実態から、国にお  
いて財政支援を求めたもの  
です。

義務教育費国庫負担制度堅持、負担率1／2への復元「三十人以下学級」の実現を目指す教職員定数改善、就学補償充実など、二〇一四年度国家予算編成における教育予算確保、拡充に向けた意見書

学級定数の見直しを行い、  
地域に高校を存続させ、希望するすべての子ども達に豊かな後期中等教育を保障することを求めたものです。

恒久平和は人類共通の願いであり、平和を愛する標茶町民の願いでもあります。核兵器は、今日、人類とあらゆる生命の存続に深刻な脅威を与えています。世界で唯一の被爆国である国民として、この地球上から核兵器の廃絶と戦争の根絶

種制度に影響がおよぶ場合は国が財政的支援を行うこ

意見書第十四

## 地域や子どもたちの実態に 応じた高校づくりの実 現を求める意見書

## 「核兵器廃絶、平和の町」宣言に関する決議

決議第一号

要支援一・二の認定を介護保険給付の対象から分離する案を採用せず、介護制度の充実を求めたものです。

生活保護基準引き下げ  
と各種制度改定の切り  
下げに反対する意見書

義務教育への国庫負担の堅持と充実、「三十人学級」の早期実現、教頭・養護教諭・事務職員の全校配置、

# 札幌航空交通管制部 の存続、充実を求める 意見書

緑豊かな美しい郷土標茶  
町の自然を守り、永遠の平  
和を願い、幸せな町民生活  
を守る決意をこめて、ここ

◆意見書第七号

生活保護利用者の生活実態からも生活保護基準の引き下げは行うべきではなく

費等の保護者負担の解消など教育環境の改善充実を求めたものです。

意見書案第十一号

を宣言します。

## 精神障害者の公共交通機関の割引制度拡充を求める意見書

き下げは行うべきではなく  
生活保護費用は全額国庫負担とし、保護基準変更で各

## 道最低賃金改正等に関する意見書

北海道標茶町議会

## 標茶町議会先進地視察

(6月26日)

▼  
テ  
マ

## 『森林共生低炭素社会の構築について』下川町

▼  
視察先

- ## 本質原料製造施設 役場周辺地域熱供給施設 環境共生型モデル住宅

内  
容

- 国が地球温暖化問題への対応として「低炭素社会」への転換を進めるため、先駆的な取り組みにチャレンジする都市を「環境モデル都市」として選定することとし、下川町は、平成二十年七月、全国六都市の一つとして認定されました。



## 環境共生型モデル住宅

ゼロエミッショーンの木材加工、木質バイオマスエネルギー利用、幼小中高十五年間の一貫した環境教育、地域材を活用し、低炭素化をめざした住宅づくり支援などを積極的に行っています。特に地域材利用、リフォーム、木質バイオマス機器、太陽光発電などに四、九〇〇万円町が補助し、工事費総額二億五八〇〇万円の実績をあげ、その結果、仕事も雇用も増えているということです。

たいという壮大な計画も話してくれました。また、廃屋の処理など若い人たちのボランティアによる地域おこし協力隊の活動、高齢化し、衰退していく集落に新しく住宅も建て人も送りこんで「次世代コンパクト集落」をつくっている様子も観察してきました。高齢者を機械的に中心市街地に集めるのではなく、逆に住宅も建て若い人を高齢化する集落に送りこむ方法は、学ぶべき点がありました。

「革に期待する」という演題で、今の議会に対する辛口の批評を中心にはなれました。  
・情報公開を徹底し、議論が活発に行われる議会にして、議会が本来の役割を果たすべき。  
・住民が選んだ議員のはずなのに、議会は本当に住民の信頼を得ているか。  
・提案は町長がするが、それを決定するのは議会だ。議会はもつと現場（住民）の意見をよく聞くことが重要である。  
議会報告会などをやつて

景気・経済では、①大型の設備投資が先行している。②賃金・収入増はあるか。③非正規雇用が三五%もいてほとんどが年収二〇〇万円以下というのが実態だ。④将来の安心感、年金、医療、介護についての提案がない。また、消費税増税は、税と社会保障の一体改革が約束だったが、社会保障の方が先送りになっているなど、現在の政治を分析しながらの内容でした。

標茶町議会  
全道議員研修会に参加  
(6月7日)

(6月27日)

毎年開催される道町村議会議長会主催の全道町村議員研修会に参加してきました。

た〇

今回は、コメント一覧

二〇四

として活躍している慶應義

塾大學教授で元鳥取県知事

の片山善博氏と政治アナリ

スプの伊藤惇夫氏の講演を

聞いてきました。

聞いてきました

片山善博氏は、一議会改

- ・「革に期待する」という演題で、今の議会に対する辛口の批評を中心に話されました。
- ・情報公開を徹底し、議論が活発に行われる議会にし、議会が本来の役割を果たすべき。
- ・住民が選んだ議員のはずなのに、議会は本当に住民の信頼を得ているか。提案は町長がするが、それを決定するのは議会だ。議会はもつと現場（住民）の意見をよく聞くことが重要である。
- ・議会報告会などをやっているところもあるが、すでに決まつたことを報告してもあまり意味がない。議会で決める前に住民の意見を聞くべきではないか。
- ・など、自らの体験も交えながらお話をされ、学ぶべき点が多くありました。
- ・また、伊藤惇夫氏は、「今後の政局・政治展望」、副題として「参院選の行方と安倍政権の課題」について、景気や経済、今後の政局・参院選などにも触れて講演



しべぢゃ議会だより No.90

## 第二回定例会 議会日誌から

三月二十五日	釧路北部消防事務組合議会
三月二十六日	釧路公立大学事務組合議会
四月一日	広報調査特別委員会
四月三日	広報調査特別委員会
四月四日	議会運営委員会
四月五日	第一回臨時会
四月十日	広報調査特別委員会
四月十六日	広報調査特別委員会
四月二十六日	議会運営委員会
四月三十日	第三回臨時会
五月十四日	議会運営委員会
五月十八日	全員協議会
六月十八日	総務経済委員会
六月十八日	厚生文教委員会
六月十八日	議会運営委員会
六月十八日	第二回定例会

平成二十五年第三回臨時会で各常任委員会委員等が選任され直ちに正副委員長が互選されました。

○委員長 ○副委員長

総務経済委員会

○黒沼 俊幸

○後藤 勲

菊地 誠道

○本多 耕平

長尾 式宮

川村多美男

○田中 敏文

○松下 哲也

林 博

○鈴木 裕美

○鈴木 裕美

○田中 敏文

○館田 賢治

○館田 賢治

○菊地 誠道

○後藤 勲

○川村多美男

○平川 昌昭

○議会運営委員会

○深見 迪

○黒沼 俊幸

○熊谷 善行

○館田 賢治

○黒沼 俊幸

○館田 賢治

○林 博

○鈴木 裕美

○本多 耕平

○深見 迪

## 常任委員会等の構成

今年は雪が多く、また、春の低温で作物の生育が心配されました。牧草は収穫時期には回復し順調に農作業が進んだようです。

第二回定例会において、

継続して議会広報調査特別委員会が設置され、新た六名の委員が選任されました。

議会活動の内容を、町民の皆様にお知らせしている「議会だより」ですが、少しでも見やすく解りやすくを考えて編集していくことを思つております。

お気付の点がありましたら、ご意見をお寄せください。  
二年間よろしくお願ひいたします。

(文責 林 博)

## 編集後記

議会広報調査特別委員の館田賢治氏が辞任せられ、新たに長尾式宮氏が選任されました。

